

第7次半田市総合計画（案）概要版



I 計画の概要

◇計画改訂の目的・背景

すべての市民が健康で、安全・快適に暮らせるためのまちづくりを進めていくためには、市が将来目指すべき都市像を明らかにし、長期展望に立った総合的・計画的なまちづくりを行うことが重要です。第7次総合計画（以下、本計画という。）は令和2年度に策定し、本計画に基づいて5年間のまちづくりを推進してきました。

この間、本市を取り巻く環境は変化しており、また、半田病院の移転に伴う知多半島総合医療センターの建設・開院、JR半田駅周辺の整備、中心市街地の活性化など様々な取組が進められています。このような社会経済情勢の変化や計画の進捗状況等を踏まえ、計画の見直しを行い、令和8年度からの5年間で推進する施策を中心に後期基本計画として策定するものとします。

◇計画期間

令和3年4月から令和13年3月までの10年間

II 基本方針

改訂にあたって重視する視点

本計画は、①社会経済情勢の変化を的確に捉えた計画 ②本市の特性を活かした計画 ③分かりやすい計画の視点で策定したことを踏まえ、本計画の改訂にあたっては、次のことを重視しました。

「選ばれるまち」を目指して

●人口減少問題に対応するため、本市独自のテーマとして「はたらく親を応援するまち」を掲げ、現在の働く世代と次の働く世代である子どもたちを未来の半田市を担う大切な存在と捉え、子育て支援を始めとする施策の充実にチャレンジします。

●上記の視点を重視した施策・事業の展開を図り、結果として子育て世代や未来の半田市を担う世代に選ばれる魅力的なまちとなり、すべての市民サービスが持続可能で、住みたい、住み続けたいと思われるまちの実現につなげます。

＜基本構想＞

将来人口を最新に修正。

＜基本計画＞

基本施策、構成は維持し、社会情勢の変化や実績・評価を踏まえ、見直し。

III 施策体系



IV 主な改訂内容

第1章 学びあい育ちあう自分らしさと夢を育む

＜改訂のポイント＞

育ちの支援

- 子どもたちがそれぞれの「幸せ」について考える『幸せ教育』の視点を追加
- 子どもたちが安心して過ごせる子どもの居場所（校内）の整備を追加（チャレンジ 2030）
- 公立保育園の民営化を推進する内容を追加（チャレンジ 2030）
- 屋内温水プールを活用した水泳授業実施校の拡大に向けた取組を追加（チャレンジ 2030）

学びの応援

- 中高生等の身近な地域での学習の機会を確保するため、学習スペースの整備を追加（チャレンジ 2030）
- 中学生の放課後活動として、地域と連携し、多様な活動に親しむ機会を拡充していく内容を追加（チャレンジ 2030）
- 図書館と学校の連携による地域開放型の学校図書館の整備を追加（チャレンジ 2030）

第2章 地球に配慮しながら成長する都市の活力を育むまち

＜改訂のポイント＞

観光・産業

- 半田市の歴史・文化を象徴する醸造・発酵文化、関連する豪商邸宅、醸造蔵等の文化財建物を活用した観光振興を推進する内容に変更
- 農業経営の支援に6次産業化プロジェクトの取組を追加
- 交流人口の増加を目指した道の駅等の整備に関する検討を追加
- 「STATION Ai」や「コココリン」などを活用し、就業・就労環境の整備と企業側の人材確保へつながる取り組みを行うこと、市内高校等への地元企業 PR やはんだオープンファクトリーを充実させていく内容に変更
- 「醸造・発酵のまち」としての認知度向上のため、事業者と連携し、醸造・発酵が感じられる商品開発を推進していく内容に変更。（チャレンジ 2030）
- インバウンド誘客も見据え、事業者等と連携し、宿泊施設や体験コンテンツなどの整備を推進していく内容に変更（チャレンジ2030）

環境

- 市営墓地の適正管理や合葬墓の整備など時代の変化に対応した墓地経営を実施していく内容に変更



第3章 つながり助けあう 健康と 笑顔を育むまち



《改訂のポイント》

地域福祉

- 地域で孤立している方や潜在的な困窮状態の方、複雑化・複合化した課題を抱える方などの早期発見、支援を追加
- 認知症の方が住み慣れた地域で暮らせるよう、認知症に関する正しい知識と理解を広げること、認知症の方を地域で支える人材育成を追加

健康

- 体力や年齢、障がいの有無、スポーツを実施する目的や場所などにとらわれることなく、『だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも』スポーツに親しめる機会の創出、環境を整備していく内容に変更
- 競技者向けの大会や初心者向けのスポーツ教室などの枠組みにとらわれることなく、関係団体と連携し、安定的にスポーツの機会が提供できるようスポーツ活動の支援を実施していく内容に変更
- 新総合体育館など魅力ある満足度の高い施設整備を推進していく内容を追加

医療体制

- 半田病院の地方独立行政法人化による半田市と知多半島総合医療機構の役割や地域医療の取組を追加

第4章 安心・安全で快適な生活 質の高い暮らしを育むまち



《改訂のポイント》

安心・安全な社会

- 防犯カメラの整備を追加
- 老朽化した消防施設の建替えや消防体制を強化していく内容に変更
- 防災 DX を推進し、新たな情報伝達手段や衛星通信等を導入することで安定的かつ確実な情報の伝達手段を確保していく内容に変更（チャレンジ 2030）

都市空間

- 中心市街地の活性化を図るため、3つのエリア（知多半田エリア、半田駅前エリア、半田運河エリア）の特性を活かしたまちづくりを実施していく内容に変更
- 快適で質の高い中心市街地の形成を目指した、名鉄の高架化の検討を追加
- Park-PFI 等の民間活力を活かした公園の整備を追加
- 知多半田エリア、半田駅前エリア、半田運河エリアのそれぞれの特性を活かしながら、中心市街地の活性化を図るため、公と民が連携した組織作りを促進していく内容を追加（チャレンジ 2030）

都市基盤

- 下水道事業の経営基盤強化のため、民間委託の拡大や他市町との広域連携の推進を追加



第5章 互いを尊重し知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち



《改訂のポイント》

協働

- 市民・市民活動団体・事業者など多様な主体と連携しながら、市の魅力を市内外に広く発信することを追加
- 若者の発想や視点を取り入れる広聴手法の導入を追加
- 既存の自治区や地域コミュニティ活動を補完する小学校区コミュニティの構築、住民同士が連携した活動・交流できる地域共創センターの整備を追加
- 若者のアイデアを取り入れる新たな仕組みの構築を追加（チャレンジ 2030）
- 小学校区単位のコミュニティ組織が運営を担う地域の拠点整備を追加（チャレンジ 2030）
- 若い世代が主体的に市民活動に関わり、地域課題の解決や社会貢献に参加できる仕組みづくりを実施する旨を追加（チャレンジ 2030）

共生社会

- 性別にとらわれず多様な価値観が尊重されるような意識啓発を追加

行財政

- DX の推進や窓口業務の効率化による市民サービスの向上を目指した取組を追加
- 革新的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業等との連携を通じ、行政業務の高度化や市民サービスの向上に資するサービスの実装を追加（チャレンジ 2030）

